

用意するもの

- はさみ ● カッターナイフ ● 定規 ● ピンセット
- のり(合成ゴム系接着剤がオススメ、または木工用接着剤)
- 折リスジを付けるための道具(鉄筆や、インクの切れたボールペン)
- 丸みを付けるための円柱棒(編み棒や鉛筆)
- 紙の切り口着色用塗料(アクリル絵の具や、サインペンなど)
- つまようじ ● 工作用マット など

※ペーパークラフトをより美しく仕上げるためのコツや作り方はホームページ内のペーパークラフト入門を参考にしてください。

作り方

1. パーツを切り取り線に沿って切り離します。

※パーツのカット面(紙の断面)は組み立て前に同色の絵の具やサインペンで、あらかじめ着色しておくとう仕上がりが美しくなります。

2. ----- 山折り、----- 谷折りの線に沿って折り目をつけます。
鉄筆やインクの切れたボールペンなど、先のとがったものでスジをつけておくときれいに折れます。印刷面にキズを付けたくないときは紙の裏からスジを付けます。
※折るところはしっかり折るのがポイントです。
3. アール(丸み)をつける場所は、丸めたい部分の上に定規をあて、紙の端を持ち上げながら、定規をずらしてカールさせる方法と、円柱状のものを芯にして、巻きつけながらしごく方法などがあります。図の ===== がアールをつけるところです。
4. 接着する前に、組み立て図や完成写真をよく見て、どんな形になるのか仮組みをしてみます。同時にアールの付き具合も確認しましょう。
5. 接着剤は紙のへら(紙の余白を利用してへらを作る)や、つまようじなどを使ってうすく塗るときれいに仕上がります。
完成写真や組み立て図をよく見て、必ず、■の番号順に接着してください。
※基本的にパーツ番号の1から順に2、3、4・・・と組み立てていくのが約束です。
図中の は紙の裏側、 はのりつけるところを表しています。
※カッターナイフを使用する際は指など切らないよう充分ご注意ください。

ピット周りツール・グリッドワゴン

1 (2つ作ります。)

不要部分

のりしろ

中央の山折り線に沿って裏同士を貼り合わせてから、はさみマークがある面を切り取ります。
※のりしろ部分に、のりが着かないように折り返しておきます。

1 ※パーツ(3)の全ての折リスジを入れてから組み立てます。

2 各穴に差し込んで、のりしろを開いて接着します。
向きは、のりしろの長いほうが全て内側、短いほうが外側です。

組み立て前に切り抜きます。

不要部分

キャスター部分(x2)を山折り線に沿って二重に貼り合わせてから、不要部分を切り取ります。

2 ■の番号順に接着します。

面と面が直角になるように接着します。

四角く形作り、左右ののりしろを開いて接着します。

折り筋を入れてから、■の番号順に接着します。

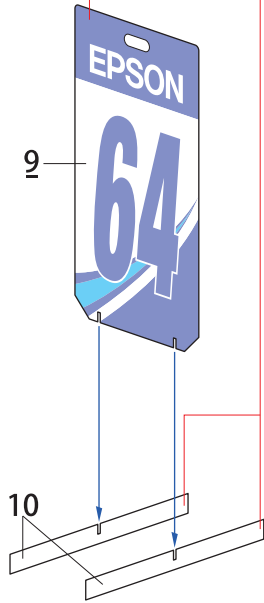
左右とも裏同士を貼り合わせます。

3 ■の番号順に接着します。

それぞれ、同色の▲印が重なるように接着します。

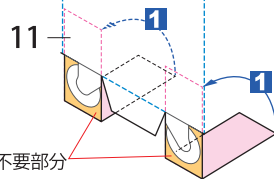
ピットレーン用ツール・ストップボード

中央の山折り線に沿って裏同士を貼り合わせてから、はさみマークがある面を切り取ったもの。

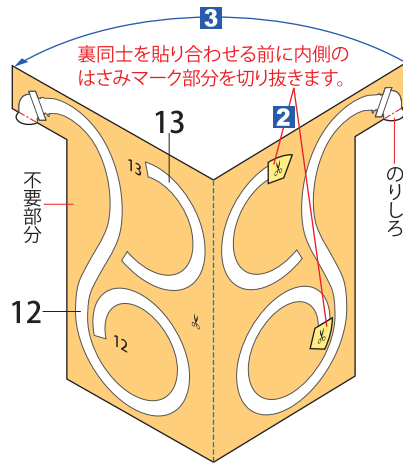


接着剤を付けて、溝と溝をはめます。

ピット内ツール・スポットクーラー

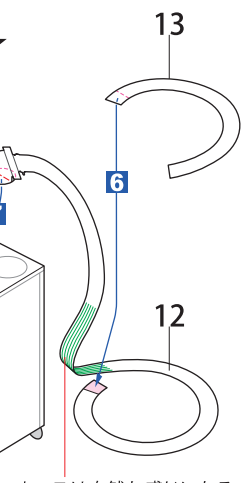
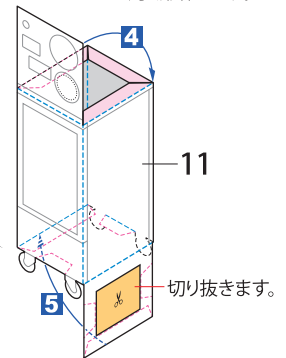


始めに、4ヶ所のキャスター部分を山折り線に沿って二重に貼り合わせてから、不要部分を切り取ります。



のりしろを折ってから中央の山折り線に沿って裏同士を貼り合わせてから、はさみマークがある面を切り取ります。

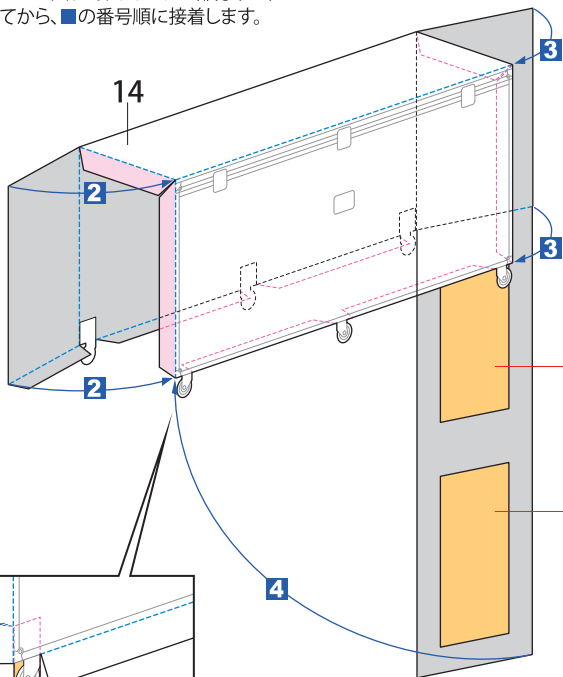
四角く形作ります。



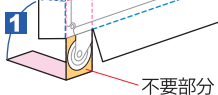
ホースは自然な感じになるようにアールを付けます。

ピット内ツール・ローラーキャビネット

折リスジを入れて、キャスター部分(×6)を作ってから、■の番号順に接着します。



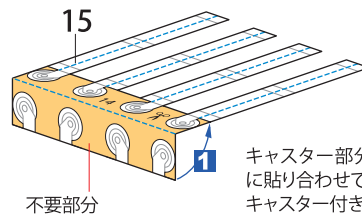
組み立て前に切り抜きます。



キャスター部分(×6)を山折り線に沿って二重に貼り合わせてから、不要部分を切り取ります。

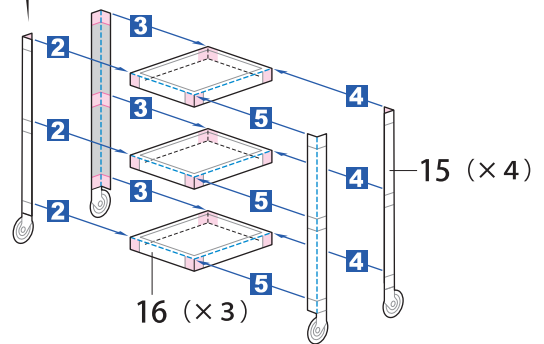
ピット内ツール・キャリアワゴン

※組立説明はキャリアワゴン1台分です。



キャスター部分の山折り線に沿って二重に貼り合わせてから、不要部分を切り取り、キャスター付きの柱を4本作ります。

キャスターの付いた柱(15)のグレーの線に合わせて、一本ずつテーブル(16)の四隅に接着していきます。



トレー(17)は四隅ののりしろを寄せて接着します。

17 (×3)